

第 1 回アンケート結果について

アンケート実施日…平成 28 年 7 月 12 日（火）～ 19 日（火）

生徒回収数…………… 575 / 601（95.7%）

保護者回収数…………… 359 / 601（59.7%）

- 今回も懇談会の機会（夏季休業前）を利用して行ったため、半数を超える保護者の皆様に協力をさせていただくことができた。しかし、6割弱に止まっており、まだ回収割合は少ない。また、記入漏れも多く、工夫が必要である。
- 今回は生徒からもアンケートを取った。
- 学校教育目標具現化について昨年度からの進捗状況が分かるように同様の学校評価アンケートを実施した。また、項目に関しては校是に関するものを増やした。

※保護者ニーズ度表

※生徒アンケート表

※保護者アンケート表

アンケートの項目

保護者用 (重要度) (実践度)	生徒用
・子どもが睡眠時間を十分にとること	・睡眠は十分とれていますか。 また、それは大切なことですか。
・子どもが必ず朝食をとること	・毎日朝食をとっていますか。 また、それは大切なことですか。
・子どもが人権を大切にす る気持ちを持つこと	・人権を大切にしていますか。また、それは大切なことですか。
・子どもが学校生活を楽 しみにすること	・学校に楽しく通学できていますか。 また、それは大切なことですか。
・子どもがあいさつをす すんで行うこと	・進んであいさつしていますか。 また、それは大切なことですか。
・子どもが授業の内容を理 解していること	・授業の内容が理解できていますか。また、それは大切なことですか。
・子どもが家庭学習に取 り組むこと	・毎日家庭学習に取り組んでいますか。 また、それは大切なことですか。
・子どもが部活動に積極 的に参加すること	・部活動に積極的に参加していますか。 また、それは大切なことですか。

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学校行事に進んで参加すること ・学校が子どもの相談に応じること ・親が子どもの相談にこたえること ・学校が家庭連絡・情報発信を行うこと ・子どもの教育に学校・家庭・地域が連携をとること ・家族で会話の時間を持つこと ・子どもが自立すること(追加) ・子どもが学校や学級，家庭や友達に貢献すること(追加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に積極的に参加していますか。また、それは大切なことですか。 ・学校・先生は相談にのってくれていますか。また、それは大切なことですか。 ・家の人は相談にのってくれますか。また、それは大切なことですか。 ・学校(先生)は学校の情報を広く知らせていますか。また、それは大切なことですか。 ・学校と家庭と地域が連携していると思いますか。また、それは大切なことですか。 ・家で家族と話をすることは大切ですか。また、それは大切なことですか。 ・以前より自立できていますか。また、それは大切なことですか。 ・以前よりまわりに貢献できていますか。また、それは大切なことですか。
---	--

【保護者用】

・各アンケート項目を「どのくらい重要だと思うか(重要度)」と「実現できていると思うか(実現度)」に分けて質問を行い、その結果(集計表)を分析した。

集計表(ニーズ度)の見方

「重要である」「よく出来ている」= 7

「やや重要である」「出来ている」= 5

「あまり重要ではない」「あまり出来ていない」= 3

「重要ではない」「出来ていない」= 1

すべての回答の合計を平均し、重要度と実現度を表した。

重要度に対する実現度の差をニーズ度と表した。

ニーズ度は「重要度×(8-実現度)」で計算し、ニーズ度の最高ポイントは49となる。

ニーズ度が高いものほど「重要であるが実現できていない」ものであると考えられる。

○ アンケートの結果より

- ・全体を通じて共通していることは、割合こそ多少の違いはあるが「子どもが睡眠時間を十分にとること」「子どもが授業の内容を理解していること」「子どもが家庭学習に取り組むこと」「子どもが自立すること」がニーズ度の高いもの（重要度に対して実現度の低いもの）となっている。これらは例年と大きな変化はなく、帰宅後にあまり学習に時間はかけないが、その割に夜遅くまで起きている子どもの様子がうかがえる。また学習について、学校で十分に理解できているのかという保護者の不安がうかがわれる。しかし、保護者の「子どもが授業の内容を理解していること」の「大体できている以上」の割合は63%だが、生徒自身の「授業の内容が理解できていますか」の「大体できている以上」の割合は86%と高い。近年、生徒たちは以前にも増して授業に熱心に取り組んでいると考えられる。
- ・「子どもが家庭学習に取り組むこと」のニーズ度も高いが、保護者の「大体できている以上」の割合は51%で、生徒の「大体できている以上」の割合は72%である。ただし、生徒の3割弱の生徒が「あまりできていない」以下である。理由として考えられる主なものに、スマホ等の使用（ライン、ブログ等）が考えられる。また、通塾率が高いと考えられ、遅くまで学習しているために家庭での学習時間がないのではないだろうか。
- ・「子どもが睡眠時間を十分にとること」のニーズが高いのは、上述の理由ではないかと思われる。公私ともに忙しい中学生の姿が見えてくる。
- ・学校の目標の「子どもが自立すること」もニーズ度の高いものになっており、「よくできている」割合は11%と低く、「大体できている」以上でも64%である。ただし、生徒の「以前より自立できているか」の問いに対して「大体できている」以上は86%であり、学校の取組が功を奏していると考えられる。ただし、「子どもの行事等に積極参加する」の実現度は保護者は93%だが、生徒は79%とやや落ちている。このことから、まだ遠慮しがちな生徒を行事等でクラスや学年に巻き込みながら、力（折り合いをつける力等）をつけていく必要がある。
- ・昨年同期よりニーズ度が上がっているものに、「進んで挨拶すること」「授業内容を理解すること」「部活に休まず参加すること」がある。挨拶に関しては、生徒の「よくできている」が34%であるところから、やや消極的であるところがうかがえる。
- ・保護者のアンケートを踏まえ、学校として行っていくことは生徒に規則正しい生活を促すこと、家庭学習の習慣化を進めること、学習への関心と意欲を高めさせるためにより一層わかりやすい授業を進めていくこと、などである。
また、家庭との連絡を密にとり、それぞれが理解し合い生徒の教育のために協力していくことが、当然ではあるがより求められると考えられる。